

いぢわるあなじゃこと
と 灯くん



あさの ひらく
3

灯くんは旅の途中です。 泥の海を歩いています。



ん？むこうでなにか 動いたぞ



よくよく見れば 泥の海には ぽつぽつとちいさな穴が。



これは ころり。 泥の中のわずかな栄養を おだんごにして食べているものです。



こんにちは おだんご たびる？ ありがとう おいしそうだね。



これは ちょろり。ひとなつこいものです。



ちよろりんちよろりん。 ちよろりも いれて。



おだんごを およばれしながら 灯くん さがしているひとのことを ふたりにきこ
うとしたとき・・・



いきなり、足が どげしげすっ。





これは いぢわるあなじゃこ。らんぼうなひねくれものです。



たえずだれかに毒をはいて いじめないでは いられないのです。





ただ楽しそうにしてたから といっただけで 灯くんを 蹴ろうとするので



灯くん ちょっと体をひねったら すってんころりん。おみごと。



それ にげろっ



灯くん すごく速いのです。



びゅんびゅん走ります。灯くん けんかはきれいだから。



ふりかえりも しません。 なんの迷いもなく 全力で逃げ去ります。



うがあああ　ぐやじいい。なんでだよ　なんで　おれが泥だらけなんだよう。いつも
自分いがいのだれかが悪いんです。



いじわるする獲物に 逃げられたくやしきで ころげまわるうちに・・・



そのまま自分の毒で 泥のかたまりに なってしまいました。



さ。 もいちどおやつ やりなおしだね。いぢわるあなじゃこには きっとまた会え
そうな気がするな。



砂の国 長編灯くん につづく

連作になってます。

他のも見てくださいと

うれしいです。

<http://p.booklog.jp/users/asanohiraku>

写漫 いぢわるあなじゃこと 灯くん

<http://p.booklog.jp/book/30548>

著者：あさの ひらく

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/asanohiraku/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/30548>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/30548>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.